

伊集院保健所感染症情報

2025年第11週（令和7年3月10日～令和7年3月16日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第8週	第9週	第10週	第11週	先週からの増減	第10週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	2.00	0.60	0.20	0.40	↗	1.26	↗
COVID-19	—	—	—	2.00	4.00	1.60	2.20	↗	2.27	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	1.67	0.33	0.33	→	1.12	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	3.67	3.00	3.00	4.00	↗	2.94	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	11.67	8.67	6.67	10.67	↗	17.86	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.32	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.12	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.26	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.32	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.08	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	2.33	1.33	1.33	3.33	↗	3.00	↗
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

● TOPIC 春の山や畑では，マダニに気をつけましょう

三月も半ばとなり，少しずつ暖かくなってきました。休日を山や畑で過ごす機会も増えてきたかと思いますが，暖かくなるにつれてマダニの活動も活発になり，マダニに刺される危険性も高まります。

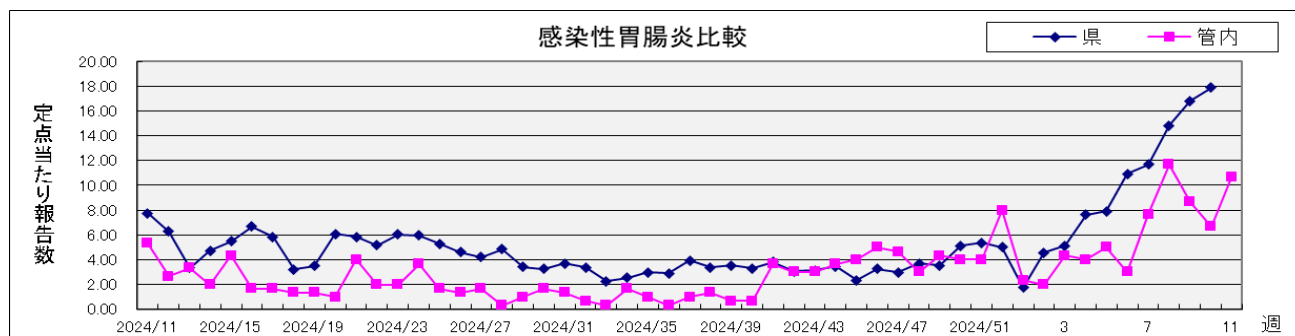
草むらや藪など，マダニが多く生息する場所に入る場合には，長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に，ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる，または登山用スパッツを着用する），足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける），帽子，手袋を着用し，首にタオルを巻く等，肌の露出を少なくすることが大切です。また，マダニに効果のあるタイプの虫除け剤の使用も効果的です。屋外で活動した後は，入浴などの際に，マダニに指されていないか確認しましょう。

もし，吸血中のマダニに気が付いた場合は，無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり，マダニの体液を逆流させてしまったりするおそれがあるので，医療機関（皮膚科）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらってください。また，マダニに刺された後，数週間程度は体調の変化に注意をし，発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。



● 注意すべき感染症

・ 感染性胃腸炎



第 11 週の伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告数は、前週の 20 人（定点当たり 6.67）から 12 人多い 32 人（定点当たり 10.67）でした。年齢別では、20 歳以上（16 人）、1 歳（7 人）、6 ヶ月～11 ヶ月・2 歳・9 歳（各 2 人）、4 歳・10～14 歳・15～19 歳（各 1 人）の順に多い報告でした。

感染性胃腸炎とは、細菌やウイルスなどの病原体による感染症で、年間を通して流行します。

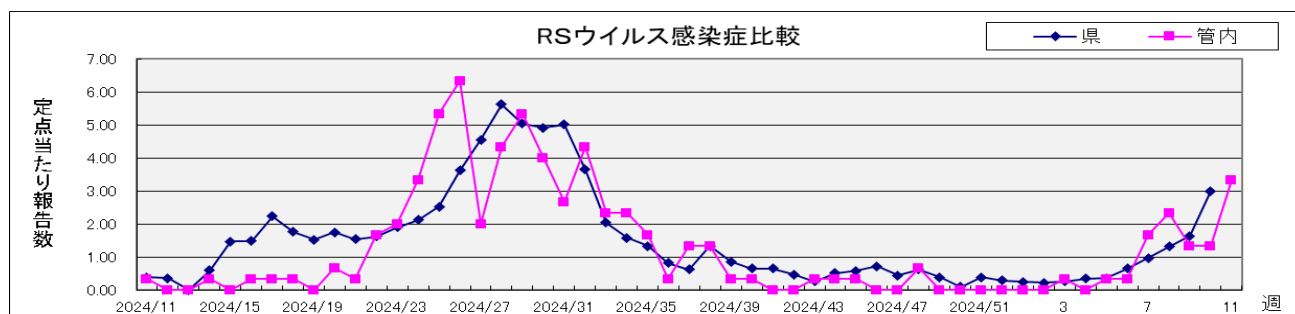
原因となる病原体には、ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルスのほか、細菌や寄生虫などもあります。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。潜伏期間は 1～3 日程度です。ノロウイルスによる胃腸炎では、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛であり、有症期間は平均 24～48 時間です。

感染予防としては、トイレの後、調理、食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、ノロウイルス等の便やおう吐物を処理する時は、次亜塩素酸ナトリウム液を用い、手袋、マスク、エプロンを着用し、処理しましょう。なお、カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。

・ RS ウイルス感染症



第 11 週の伊集院保健所管内における RS ウイルス感染症の報告数は、前週の 4 人（定点当たり 1.33）から 6 人多い 10 人（定点当たり 3.33）でした。年齢別では、6 ヶ月～11 ヶ月（6 人）、2 歳（2 人）、1 歳・4 歳（各 1 人）の順に多い報告でした。

RS ウイルス感染症は、感染してから 2～8 日、典型的には 4～6 日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症で自然軽快しますが、咳がひどくなる、喘鳴が出る、呼吸困難となるなどの症状が出現することもあり、場合によっては、細気管支炎、肺炎へと進展していきます。特に、早産児や生後 6 ヶ月未満での感染では重症化することがありますので、注意が必要です。

感染予防対策としては、流水・石鹸による手洗い、またはアルコール製剤による手指衛生が重要です。

○学校における感染症による出席停止の状況 3/10～3/16（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

第 11 週の出席停止については、インフルエンザ患者が 2 人（内訳：非型別インフルエンザが 2 人）、感染性胃腸炎が 4 人、溶連菌感染症 2 人、マイコプラズマ感染症 2 人、RS ウイルス感染症 1 人、COVID-19 が 1 人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	感染性 胃腸炎	溶連菌 感染症	マイコプラ ズマ感染症	RS	新型コロナ 感染症
日置市	1	2	2	2	0	1
いちき串木野市	1	2	0	0	1	0
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0
計	2	4	2	2	1	1